



# 加古川市版Decidimの活用について

KAKOGAWA SMART CITY PROJECT



# Decidimとは

## ■ Decidimの概要

- バルセロナやヘルシンキなどで使われている、参加型民主主義プロジェクトのためのツール
- オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を提供
- バルセロナのような都市レベル、地域政府レベル、Foundationのような非営利団体、Decidimコミュニティといったコミュニティ活動でも利用
- 30を超える自治体で利用

## ■ Decidimの特徴

- パブリックコメントのようなものとは違い、意見を言った人に対するフィードバックを行える
- 計画策定間のプロセスが設計されており、徐々に議論を収束させていくことができる
- オンラインとオフラインを融合させることにより議論を活性化させ、デジタル・デバイドの問題を解消
- 議論やデータが可視化されるため、納得解が得やすい



# Decidimの導入

- Code for Japan と協定を締結（R2年10月）し、Decidimを導入
  - 市民参加型合意形成プラットフォームとして、国内で初導入



2022.9.15現在  
ユーザ数 : 1,129  
トピック数 : 26

## アクティブな参加型プロセス



新たに完成する複合施設の  
愛称募集（加古川東市民病  
院跡地整備事業）※愛称が  
決定しました！  
アクティブフェーズ 愛称決定フェ  
ーズ



加古川河川敷のにぎわいつ  
くり（かわまちづくりプロ  
ジェクト）

アクティブフェーズ アイデア検討フ  
ェーズ



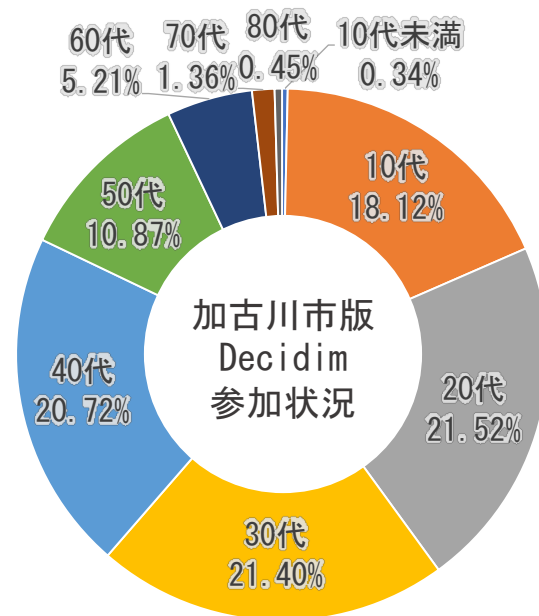
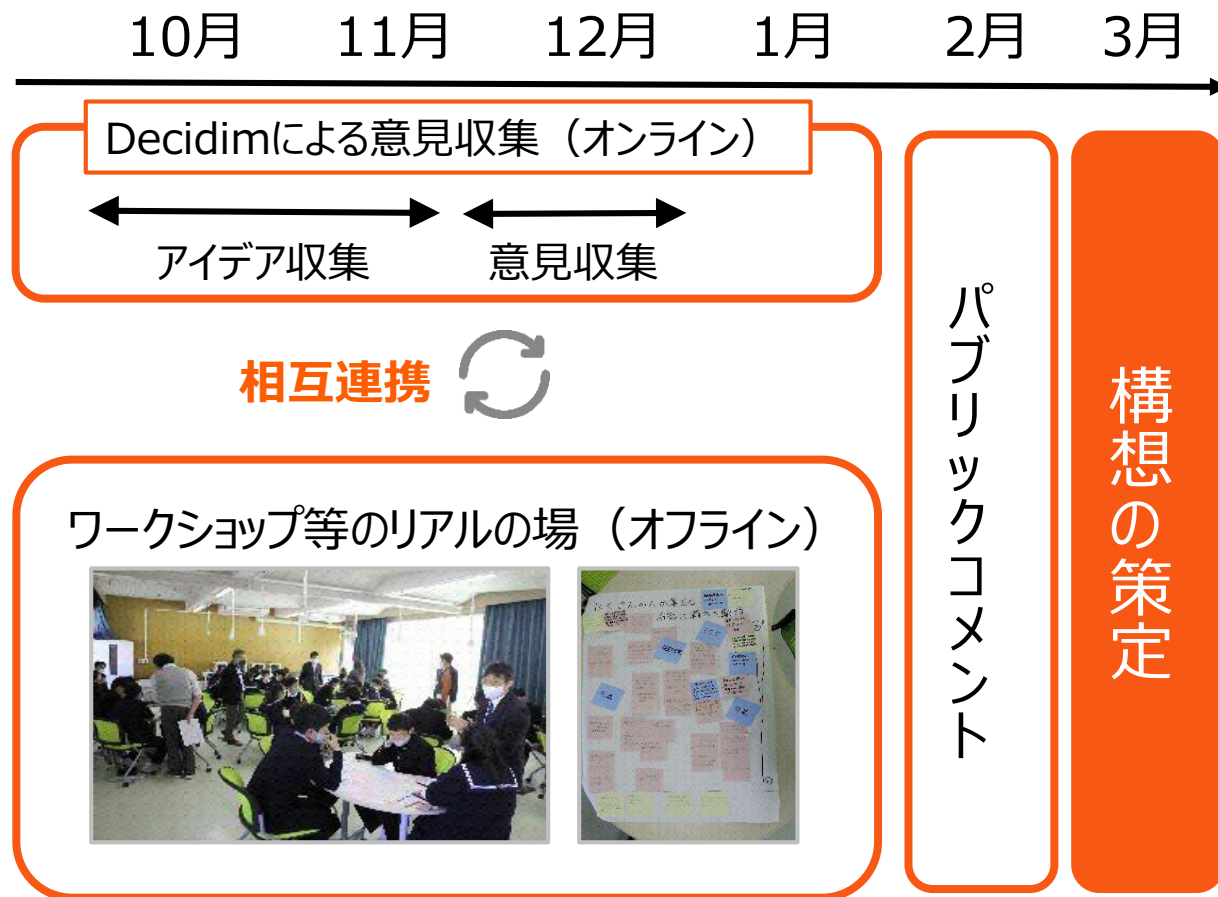
みんなが使えるスマホ講座

アクティブフェーズ 初級編フェーズ



# オンラインとオフラインを同時並行で

- Decidimの一方で、ワークショップなどのリアルな議論の場も併せて開催



若い世代の参画！



# 加古川市スマートシティ構想

## 基本理念

誰もが豊かさを享受できる スマートシティ加古川

～「幸せを実感できるまち加古川」の実現に向けて～

## スマートシティ推進の5原則

### (1) 透明性とプライバシー保護 (Transparency & Privacy)

データの利活用にあたっては、市民の皆さんのプライバシーの保護に十分な配慮を行います。また、市の意思決定過程における透明性の確保に努めるとともに、設置する機器に対するプライバシーリスクの潜在的な影響や脅威を評価したうえで設置します。

### (2) 安全・安心・回復性 (Safety, Security & Resiliency)

自然災害、不慮の事故、情報セキュリティなどによる障害が発生した場合でも、最低限の機能が維持しながら、早期に回復できる能力を確保するように努めます。

### (3) 相互運用性とオープン性 (Interoperability & Openness)

ICT技術導入の際は、システム間において様々なデータに接続することが可能となる相互運用性を担保しながらエコシステムの実現を図ります。また、データが広く社会において適正に使用されるように、組織間の壁を意識せずデータ利活用が最大限に行われるように努めます。

### (4) 公平性、社会的包摂、社会的影響 (Equity, Inclusion & Societal impact)

あらゆる人材が能力を最大限発揮し、やりがいを感じられるような社会を実現するために、サービスや機会損失を発生させず誰一人取り残さないように努めます。また、その社会への影響を評価し、市民生活の向上と環境保全に努めます。

### (5) 運用面と財政面の持続可能性 (Operational & Financial Sustainability)

スマートシティの実現においては、運用面・財政面の両方から持続可能でより効果的・効率的な事業であることを確認しながら実装するように努めます。

## スマートシティ推進の基本目標

### 基本目標1【市民】市民のQOLや利便性を向上するサービス

- ① いつでもどこでもできるストレスフリーな行政手続の実現
- ② 誰にでもやさしい窓口環境の実現
- ③ 欲しい情報がすぐ手に入る効果的な情報発信
- ④ 安心して子育てをできるまちづくり
- ⑤ 高齢者にやさしいまちづくり
- ⑥ GIGAスクールの推進 (デジタル教育)
- ⑦ 行政情報の見える化

### 基本目標2【まち】都市機能の強化や都市課題の解決

- ① 快適に移動できるまち
- ② 安全・安心のまちづくり
- ③ 災害に強いまちづくり
- ④ にぎわいのあるまちづくり
- ⑤ インフラの整備及びメンテナンス

### 基本目標3【行政】デジタル行政の推進

- ① 情報のデータ化によるスムーズな窓口対応
- ② 最新技術による徹底した業務効率化
- ③ どんな時も業務継続を可能とする体制づくり
- ④ 多様なデータの利活用による新たな行政サービスの実現
- ⑤ スマートシティアーキテクトの育成



# かわまちづくりの意見募集

## ■ かわまちづくりとは

- 加古川駅に近い広大な河川敷空間を、自然と触れ合える新たなにぎわい空間とすべく、**かわまちプロジェクト**が進行中



## ■ Decidimの活用

- Decidim上で、加古川河川敷における「魅力」や「やりたいこと」について、気づきやアイデアを出し合う
- “**かわまちづくりシンポジウム**（R3年6月27日）”などのリアルの場も開催



# 新施設の愛称決定に活用

- Decidimの投票機能を活用
  - 新しい複合施設（子育てプラザ+公民館）の愛称に、投票機能を活用
  - 一人3票まで投票可、期間内であれば選びなおしも可
  - クラウドソーシングによる400案から9案に絞り込み → Decidim上で9案から3案へ



新施設のイメージ



オンライン（Decidim）による投票  
（GIGAスクールの端末からの投票等）



リアルでのシール投票

# 加古川東高等学校「放課後プロフェッショナル」

- 学生のみなさんが、行政任せにせず「自ら取り組む」ことを実践  
人任せにしない取り組み（自分たちでデータを集め、関係者に働きかける）
- 市の担当課も事業者も呼応して、取り組みのブラッシュアップ
- オンラインツール（Zoom、Decidim）を活用したコミュニケーション

加古川東高校 × 兵庫県靴下工業組合 × 加古川市  
～KAKOGAWA KUTSUSHITA PROJECT～

加古川市 × NEC  
地域共創プロジェクト



**「家族への感謝の心」**  
を伝えるために  
**母の日に加古川の靴下を**  
贈りませんか

取り扱い店舗  
靴下専門店・かこがわ工房Kips（キップス）  
場所：ヤマトヤシキ1階


父の日  
くつした  
「いつもありがとう」を贈る  
**Kips**



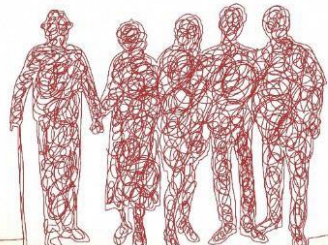
加古川東高校STEAM特講靴下PR班×加古川市×Kips

加古川東高校STEAM特講靴下PR班×加古川市×Kips

**心**  
加古川の靴下が伝える



加古川の靴下で贈りたい  
「ありがとう」や「おめでとう」の心



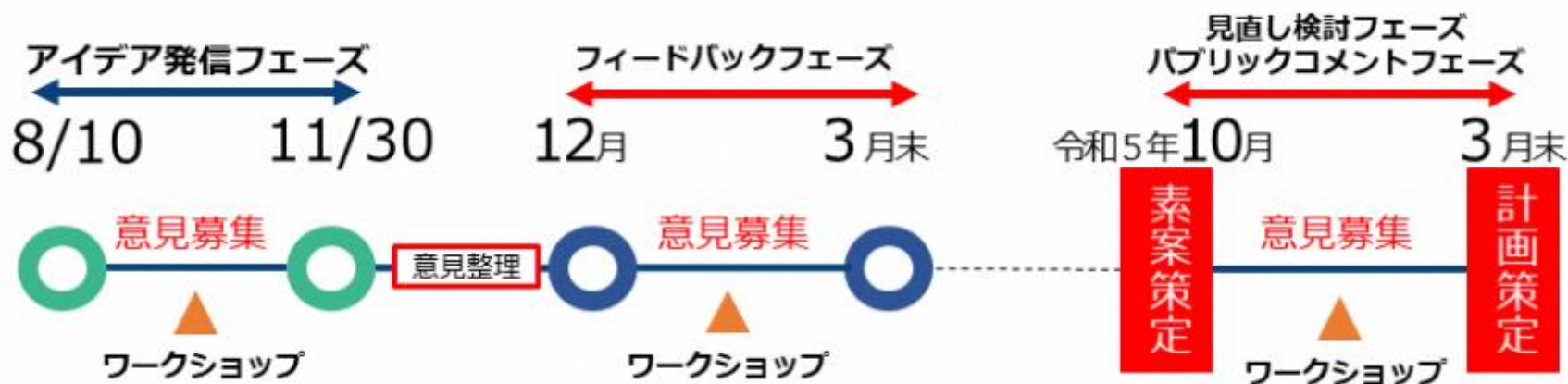
加古川東高校STEAM特講靴下PR班×加古川市×Kips



# スマートシティ構想の実施状況

## ■ 2021年3月に策定した加古川市スマートシティの実施状況

- このまま進めていくべき取組、改善すべき取組、注力すべき基本目標などについて幅広く意見・アイデアを募集
- 2024年度の本構想の見直し、既存取組の改善や今後の取組を検討
- スマートシティの取組を参加者と共有



# 評価すべき点・改善すべき点

## ■ 評価すべき点

- 今までキャッチアップできていなかった層からの声を聞くことができつつある
- 発信することで、誰かにレスポンスもらえるのは発信しがいがある
- コメントやいいねが付くことで「聞いてもらえている」という感覚が芽生える
- 施策として反映されることにより、市政への参画・興味が高まる
- ワークショップに参加した職員のモチベーション向上
- 行政・市民が課題を共有することができ、協働しながらまちづくりに参画することができる

## ■ 改善すべき点

- 情報発信し続ける職員文化の醸成
- 行政に対する無謬性
- 金銭的インセンティブを発生させることは困難であるため、参加者のモチベーションの維持
- 参加者に対する参加するメリットをより明確にしていく必要がある

Decidimを導入するだけでは真のデジタル市民協働はできない